

 The 6th Annual Meeting of the Japan Society for Pediatric ORL

第6回日本小児耳鼻咽喉科学会総会 学術講演会

プログラム



会期 2011年6月16日(木)・17日(金)

会場 大宮ソニックシティ 〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5
TEL: 048-647-4111

会長 飯野 ゆき子 (自治医科大学附属さいたま医療センター)

日本小児耳鼻咽喉科 第32巻 第2号
Pediatric Otorhinolaryngology Japan Vol. 32, No. 2

第6回 日本小児耳鼻咽喉科学会総会号
学術講演会 プログラム・抄録集

会 期：平成23年6月16日(木)・17日(金)

会 場：大宮ソニックシティ

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5

TEL: 048-647-4111

ホームページ：<http://www.sonic-city.or.jp/>

会 長：飯野 ゆき子

自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科

事務局：自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

吉田尚弘，新鍋晶浩

TEL: 048-647-2111 (代表) FAX: 048-648-5188 (医局)

ホームページ：<http://www.ped-orkl.umin.jp/6th/>

日本小児耳鼻咽喉科学会
Japan Society for Pediatric ORL

会長挨拶

この度の東日本大震災で被災された方々及び被災地の方々に心からお見舞い申し上げます。

さてこの度、第6回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を担当させて頂く事となり、身に余る光栄に存じております。東北新幹線も再開通し、着々と被災地も復興に向けて前進しているところです。実はこの学会が開催できるかどうかかなりの不安がありましたが、なんとか開催にこぎつける事ができました。ひとえにご関係の皆様のおかげと心から感謝しております。会期は2011年6月16日（木）、17日（金）の2日間です。これまでの総会・学術講演会は土、日に行われる事が多かったのですが、会場の都合で木、金にさせて頂きました。じっくり学会に参加して頂き、週末はゆっくり休養をとっていただければと思います。会場は大宮駅西口から徒歩3分ほどの大宮ソニックシティで、非常に駅からのアクセスの良い所です。

本学会のテーマは『育て！小児耳鼻咽喉科医』とさせて頂きたいと思います。昨年、頭頸部がん専門医制度がスタートし、他にも耳鼻咽喉科 subspecialty としての専門医を検討している学会もあります。小児耳鼻咽喉科学会もいずれはこのような専門医を検討する必要があると思います。しかし、まずたくさんの医師に小児耳鼻咽喉科に興味を持って頂く必要があります。そのような意味でも本学会を日常の小児耳鼻咽喉科医療の問題点、また新しい治療に関する情報など、ご参加いただいた方々がお互いに活発に討論する場に出来ればと思います。その中から小児耳鼻咽喉科医をめざす医師が多数出てくる事を期待しております。

今回は一般演題に131題と過去最高のお申し込みを頂きました。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。特別講演は、International Journal of Pediatric Otorhinolaryngology を発刊し第1号から現在にいたるまで Editor-in-Chief でいらっしゃる Robert Ruben 先生と、国際女医会前会長で埼玉医科大学名誉教授の平敷敦子先生にお願い致しました。いずれも楽しいお話が伺える事と思います。シンポジウムⅠは『反復性中耳炎の危険因子とその対応』を東北大学の小林俊光教授のご司会で、シンポジウムⅡは『小児耳鼻咽喉科疾患に対する手術療法の選択』を兵庫医科大学の阪上雅史教授のご司会で企画いたしました。両シンポジウムとも小児科医にもシンポジストとして加わって頂いております。きつととても勉強になり、有益なシンポジウムになると期待しております。その他臨床セミナー2つ、モーニングセミナー1つ、ランチョンセミナー4つを準備いたしました。いずれも小児耳鼻咽喉科診療を行うにあたって知っておくべき必須事項ばかりを選びました。ご期待いただきたいと思います。

埼玉県は2007年に日本の最高気温40.9℃を記録した熊谷市がある県ですが、6月のさいたま市は比較的過ごしやすい気候です。学会場周囲には2000年以上の歴史のある氷川神社があります。全国に多数ある氷川神社の中では最も由緒ある神社とされ、『武蔵の国一の宮』と定められたそうです。大宮の地名もこの氷川神社に由来します。うっそうとした木々に囲まれた参道は2kmにもわたり、神社への散歩も気分転換に最高と思います。

懇親会は全国から鉄道ファンが集まる超人気スポット、『鉄道博物館』で開催いたします。歴史的な鉄道列車を眺めながら、ご参加の皆様の交流を深めていただければと思っております。

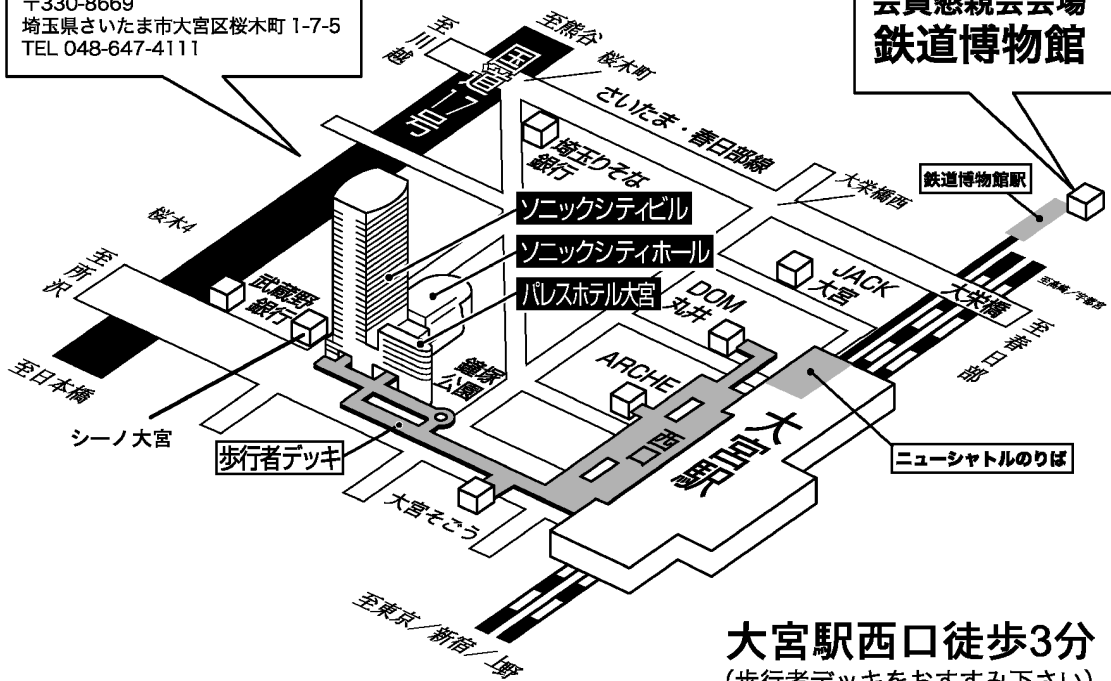
それでは多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。

第6回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会
会長 飯野 ゆき子

交通のご案内

学会会場
大宮 **ソニックシティ**
〒330-8669
埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5
TEL 048-647-4111

会員懇親会会場
鉄道博物館



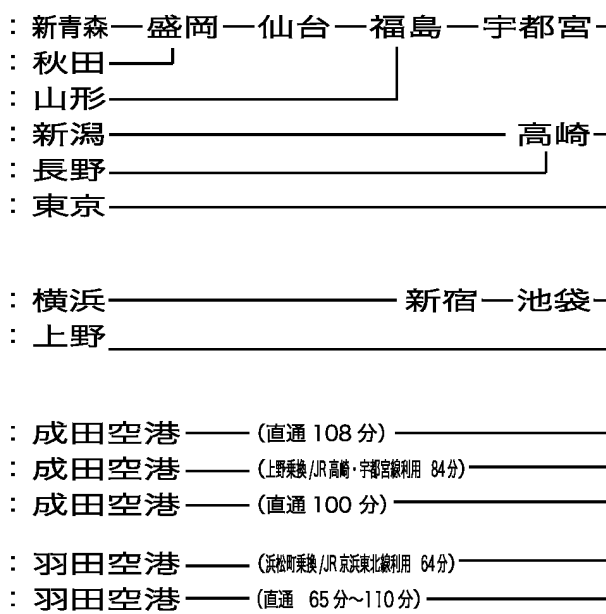
大宮駅西口徒歩3分
(歩行者デッキをおすすめ下さい)

新幹線で
東北新幹線
秋田新幹線
山形新幹線
上越新幹線
長野新幹線
東北・上越長野新幹線

在来線で
JR 湘南新宿ライン
JR 高崎・宇都宮線

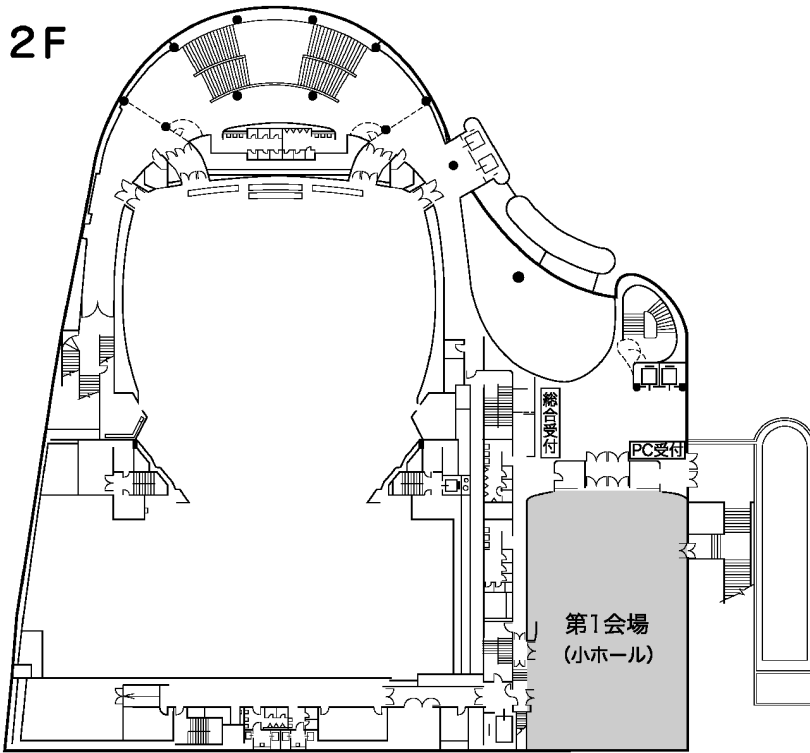
空港から
JR 成田エクスプレス
京成スカイライナー
高速バス ON ライナー

モノレール
高速バス

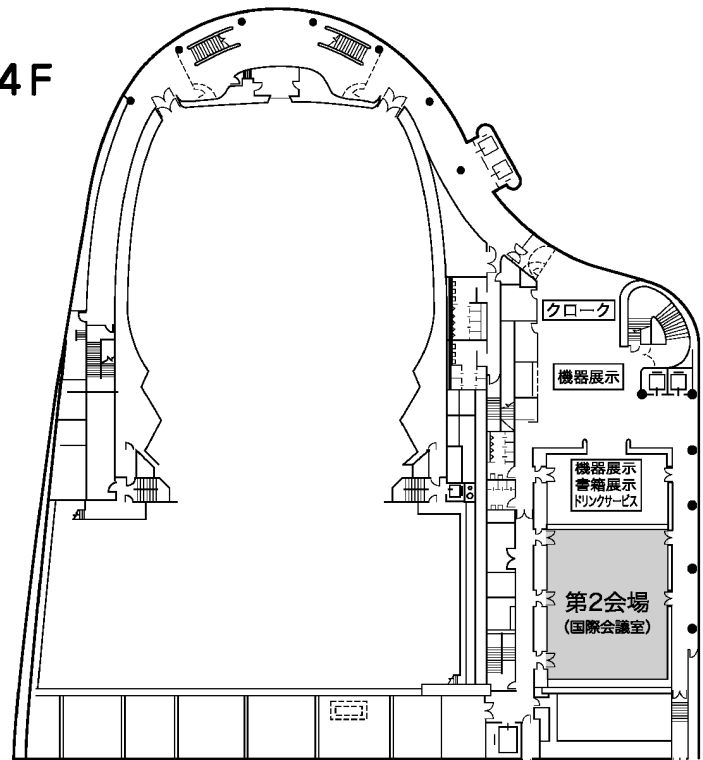


会場のご案内

2F



4F



日程表

第 1 日目 平成23年 6 月16日(木)

| | 第 1 会場 (小ホール) | 第 2 会場 (国際会議室) |
|-------|---|---|
| 7:00 | 7:00~ 8:00 旧理事会 (パレスホテル大宮 3F・チェリールーム) | |
| 8:00 | 8:00~ 8:30 新理事会 (パレスホテル大宮 3F・チェリールーム) | |
| 9:00 | | 8:40~9:20 評議員会 |
| | 9:25~ 9:30 開会の辞 | |
| 10:00 | 9:30~10:20 第 1 群 中耳疾患 1 演題：1~5 座長：小林一女 | 9:30~10:20 第 6 群 難聴 1 演題：25~29 座長：泰地秀信 |
| 11:00 | 10:20~11:00 第 2 群 耳感染症 1 演題：6~9 座長：荒川浩一 | 10:20~11:00 第 7 群 言語発達 演題：30~33 座長：益田 慎 |
| | 11:00~12:00 臨床セミナー I 「小児のめまい」 司会：坂田英明 演者：五島史行 | 11:00~11:50 第 8 群 頸部 1 演題：34~38 座長：家根旦有 |
| 12:00 | 12:00~13:00 ランチョンセミナー I 「小児急性鼻副鼻腔炎の治療戦略—急性鼻副鼻腔炎 診療ガイドライン2010年度版をもとに—」 司会：山中 昇 演者：宇野芳史 | 12:00~13:00 ランチョンセミナー II 「小児アトピー性皮膚炎の標準治療の普及を目指して —いくつかの問題点とその解決法—」 司会：西崎和則 演者：江藤隆史 |
| 13:00 | 13:00~13:30 総会 | |
| 14:00 | 13:30~14:30 特別講演 I 「Pediatric Otolaryngology, past, present, and future」 司会：市村恵一 演者：Robert Ruben | 13:30~14:30 第 9 群 口腔咽頭 1 演題：39~44 座長：福永慶隆 |
| 15:00 | 14:30~16:10 シンポジウム I 「反復性中耳炎の危険因子とその対応」 司会：小林俊光 演者：上出洋介, 加藤俊徳, 伊藤真人, 井埜利博 | 14:30~15:20 第10群 喉頭 1 演題：45~49 座長：安岡義人 |
| 16:00 | | 15:20~16:10 第11群 喉頭 2 演題：50~54 座長：阪本浩一 |
| 17:00 | 16:10~17:00 第 3 群 中耳疾患 2 演題：10~14 座長：竹内万彦 | 16:10~17:00 第12群 喉頭 3 演題：55~59 座長：内藤健晴 |
| | 17:00~17:50 第 4 群 先天性耳疾患 1 演題：15~19 座長：宇佐美真一 | 17:00~17:40 第13群 嚥下 演題：60~63 座長：佐野光仁 |
| 18:00 | 17:50~18:40 第 5 群 先天性耳疾患 2 演題：20~24 座長：山嶋達也 | 17:40~18:20 第14群 鼻副鼻腔 1 演題：64~67 座長：春名真一 |
| 19:00 | 19:15~20:45 会員懇親会 (鉄道博物館) | |

日程表

第 2 日目 平成23年 6 月17日(金)

| | 第 1 会場 (小ホール) | 第 2 会場 (国際会議室) |
|-------|--|---|
| 7:00 | | |
| 8:00 | 7:30～ 8:20 モーニングセミナー 「小児急性中耳炎の治療—使用抗菌薬を考える—」 司会：鈴鹿有子 演者：鈴木賢二 | |
| 9:00 | 8:30～ 9:20 第15群 頸部 2 演題：68～72 座長：岡本美孝 | 8:30～ 9:20 第19群 難聴 2 演題：89～93 座長：細井裕司 |
| 10:00 | 9:20～10:10 第16群 口腔咽頭 2 演題：73～77 座長：鈴木雅明 | 9:20～10:10 第20群 難聴 3 演題：94～98 座長：小川 郁 |
| 11:00 | 10:10～11:00 第17群 口腔咽頭 3 演題：78～82 座長：原渕保明 | 10:10～11:00 第21群 真珠腫 演題：99～103 座長：高橋 姿 |
| 12:00 | 11:00～12:00 臨床セミナーⅡ 「発達障害の理解と援助」 司会：加我君孝 演者：渡部京太 | 11:00～11:50 第22群 鼻副鼻腔 2 演題：104～108 座長：黒野祐一 |
| 13:00 | 12:00～13:00 ランチョンセミナーⅢ 「小児の長引く咳」 司会：望月博之 演者：川崎一輝 | 12:00～13:00 ランチョンセミナーⅣ 「肺炎球菌予防戦略の展開～結合型ワクチンの中耳炎予防効果は？」 司会：工藤典代 演者：中野貴司 |
| 14:00 | 13:10～14:10 特別講演Ⅱ 「Professionalism and Leadership」 司会：川城信子 演者：平敷淳子 | 13:10～14:10 第23群 口腔咽頭 4 演題：109～114 座長：峯田周幸 |
| 15:00 | 14:10～15:50 シンポジウムⅡ 「小児耳鼻咽喉科疾患に対する手術療法の選択」 司会：阪上雅史 演者：三代康雄，月館利治，新谷朋子，黒木春郎 | 14:10～15:00 第24群 聴覚，平衡機能検査 演題：115～119 座長：中川尚志 |
| 16:00 | | 15:00～16:00 第25群 耳感染症 2 演題：120～125 座長：井口郁雄 |
| 17:00 | 16:00～17:00 第18群 人工内耳 演題：83～88 座長：長井今日子 | 16:00～17:00 第26群 耳ウイルス感染症 演題：126～131 座長：氷見徹夫 |
| 18:00 | 17:00～ 閉会の辞 | |
| 19:00 | | |

参加者へのご案内

1. 参加受付について

すべての参加登録は当日会場でのみ受付いたします。事前登録は行いません。当日、学会場受付にてご登録いただき、ネームカード（領収証付き）をお受け取り下さい。

会期中は必ずネームカードをご着用下さい。ネームカードのない方のご入場はお断りしますので、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

参加登録費 13,000円

受付場所・日時

大宮ソニックシティ 2階 第1会場（小ホール）ホワイエ

6月16日（木）8時30分～18時00分

6月17日（金）7時30分～16時00分

医学部学生，研修医の参加について

医学部学生，研修医（新医師臨床研修制度による）の参加が認められております。参加費は無料です。参加希望の方は6月10日までに学会事務局（e-mail: ped6th@4580.jp）まで、氏名，所属，連絡先を明記の上，電子メールにてお申し込み下さい。尚，当日会場受付にて所属責任者からの証明を確認させていただきます。

2. 専門医関連学術講演会参加登録/参加証について

当日の学会場受付にて，ネームカードを受け取り，所属・氏名をご記入いただいたネームカードを着用した上で，専門医参加登録/参加証受け取りを行って下さい。日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医の方は，「日耳鼻専門医証（IDカード）」および「学術集会参加報告票」が必要です。耳鼻咽喉科専門医受付にて登録を行ってください。

日耳鼻専門医証（IDカード）および学術集会参加報告票をお忘れの方は，「ネームカード」のコピーとともに「学術集会参加報告票」を学会終了後1週間以内に第6回日本小児耳鼻咽喉科学会事務局（〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847 自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科）までご郵送ください。

小児科専門医の方は，本学術講演会参加による基本単位は5単位です。小児科専門医受付にて参加証を配付いたします。

3. プログラム・抄録集

当日、プログラム・抄録集の購入を希望される方は参加受付（2階）でお問い合わせ下さい。1部2,000円で販売いたします。お支払いは現金のみとさせていただきます。

4. 会員懇親会

1. 会員懇親会は、6月16日（木）19：15より鉄道博物館にて行います。奮ってご参加ください。

2. 鉄道博物館には19：00よりご入場頂けます

3. 入場の際ネームカード（参加証）が必要です。ご家族の同伴も歓迎致します。

4. 鉄道博物館までの交通

電車をご利用の場合

学会会場最寄り駅・JR大宮駅より「ニューシャトル」で1駅目、

「鉄道博物館駅」下車徒歩1分

シャトルタクシーをご利用の場合

18：20より学会会場隣（パレスホテル大宮）よりシャトルタクシーをご用意いたします。

注）会員懇親会は博物館終了後の貸切パーティーとなりますので、博物館駐車場は営業しておりません。車でのご来場は、ご遠慮いただけますよう、お願いいたします。

5. クローク

4階第2会場（国際会議室）ホワイエにクロークを設けますのでご利用下さい。

なお、貴重品に関しましては当事務局では責任を負いかねますので、各自お手持ち下さいますよう、お願いいたします。

6. 機器展示・書籍販売・ドリンクサービス

4階第2会場（国際会議室）前にて機器展示・書籍販売・ドリンクサービスを行います。

皆様ご自由にご利用下さい。

7. モーニングセミナーについて

6月17日（金）第1会場（小ホール）にて開催いたします。

軽食の準備をさせていただきます。

8. ランチョンセミナーについて

6月16日（木）、6月17日（金）第1会場（小ホール）、第2会場（国際会議室）にて行います。

9. 伝言・呼び出しについて

各会場とも緊急時以外の呼び出しはいたしませんのでご了承下さい。メッセージボードを用意いたしますのでご利用ください。

10. お願い

会場内は全て禁煙ですので館内での喫煙はお断りいたします。

会場内はドリンクコーナーのみ飲食可能です。それ以外の場所での飲食はお断りいたします。

会場内では携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードに設定願います。

11. 関連行事

旧理事会：6月16日（木）7時00分～8時00分 パレスホテル大宮 3F チェリールーム

新理事会：6月16日（木）8時00分～8時30分 パレスホテル大宮 3F チェリールーム

評議員会：6月16日（木）8時40分～9時20分 第2会場（国際会議室）

総 会：6月16日（木）13時00分～13時30分 第1会場（小ホール）

発表についてのご案内

【口演発表の先生方へ】

I. 発表時間は下記の通りです。座長の指示に従い時間厳守でお願いします。

一 般 演 題：発表7分+質疑3分

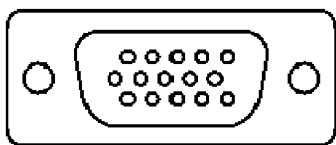
II. 発表形式はPC発表といたします。

発表の1時間前までに、発表用のメディアまたはPC本体をPCプレビューセンターにお持ちいただき、オペレーターと動作の確認をしていただきますようお願いいたします。

Windowsで動画を御使用の先生、また、Machintoshご使用の先生は必ず、ご自身のパソコンをお持込みください。

| 機種 | PC本体持込 | メディア持込 (USB) |
|----------------------|--------|--------------|
| Windows XP, Vista, 7 | ○ | ○ |
| Machintosh | ○ | × |

ご自身のパソコンを使用する場合、専用外部出力ケーブルをお持ちいただきますようお願いいたします。PCプレビューセンターでは、D-sub15ピンケーブルを用意していますが、一部のノートパソコンでは本体付属の専用コネクタが必要な場合もありますので、必ずお持ちください。



D-sub15ピン

プレビュー終了後、データはLAN回線を経由して発表会場まで転送されます。

本体持込みの方は、プレビュー後、ご自身で発表会場までご持参ください。会場スクリーン向かって左側前方にオペレーター席がございます。PCの返却もオペレーター席で行いますので、発表後速やかにお引き取り下さい。

発表データの作成について

① 発表に使用できるデータ

Windowsで作成したMicrosoft Power Point 2003以降のファイルのみとします。

画面サイズはXGA (1024×768) になります。この環境のノートPCですべての画面が不具合なく表示されることを、お越しになる前にあらかじめご確認ください。

Machintoshで作成したPower PointファイルをWindowsで変換または修正などを行った場合、データは正確に表現されません。文字化け、文字の位置ズレや切れ、グラフの不正確表示、オブジェクトのはみ出し等がおこります。また、フォント情報が付加されているため、正確な文字の表現ができない恐れがありますので、Machintoshでのデータ作成はご遠慮くださ

い。

発表データは完成された状態でお持ち込みください。

② フォント

Windows XP（日本語版）に標準搭載されているフォントのみ使用可能です。

日本語：MS ゴシック，MSP ゴシック，MS 明朝，MSP 明朝の4種類のみ。

英語：Times New Roman, Arial, Arial Black, Arial Narrow, Century, Century Gothic, Courier, Courier New, Georgia の9種類のみ

これ以外のフォントを使用した場合、文字ずれ、段落のずれ、文字化け、とじの不正表示などのトラブルが発生し、正確に表現できない場合があります。

③ 動画について

動画を Power Point に埋め込む場合、Windows Media Player で動作する形式をお使いください。これ以外のリアルタイムプレーヤー、クイックタイムプレーヤーなどの動画ソフトは利用できません。

動画を使用する場合、リンク切れにご注意ください。1 ファイルに PPT データと動画データをいれ、リンクを貼り付けてください。

また、別のメディアにファイルごとコピーし、作成した PC 以外での PC で動作確認することにより解決できます。なお、動画ファイルには拡張子を必ずつけてください。

④ 音声について

PC からの音声再生は可能ですが、Windows Media Player で動作できる形式のみとさせていただきます。また、PC 以外のメディアにつきましても、音声再生はできません。

⑤ データ容量

データの容量を、100 MB（総量）までとさせていただきます。

⑥ メディアの持ち込み形式について

USB フラッシュメモリーのみの受付とさせていただきます。MO ディスク、スマートメディア、SD カード、メモリースティック、コンパクトフラッシュ等のメディアによる受付はいたしませんのでご注意ください。不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ちいただきますようお願い申し上げます。

⑦ データ名の統一について

持ち込まれるメディアには、当日発表されるデータ（完成版）以外のデータを入れないでください。

また、データのファイル名には、演題番号（半角）に続けて発表者の氏名（漢字）を必ずつけてください。

⑧ PC の操作について

発表の際は演台に設置しております操作用マウスを使って、演者ご本人による操作をお願いいたします。オペレーターに操作を依頼希望の方は PC プレビューセンターにて、事前にお伝えください。また、ご自身のパソコンを操作されることも可能です。

【司会・座長の方々へ】

- 1) セッション開始30分前までに必ず進行係（各会場右前方）にお声をおかけください。
- 2) 各セッションの進行は司会・座長の先生方にお任せいたします。定刻通りの進行をお願いいたします。
- 3) 座長推薦演題を記入用紙にご記入の上、進行係へお渡し下さるか総合受付にお渡し下さい。

【討論・発言について】

- 1) 多くの会員の活発な討論・発言を歓迎いたします。
- 2) 発言される方はあらかじめフロアマイクの前に待機し、司会者の指示に従って氏名・所属を述べたうえで簡潔明瞭に行ってください。

【連絡先】

第6回日本耳鼻咽喉科学会運営事務局

自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

TEL：048-647-2111（代表） FAX：048-648-5188（医局）

E-mail：ped6th@4580.jp

事務局：吉田尚弘，新鍋晶浩

第6回日本小児耳鼻咽喉科学会総会 学術講演会 演題プログラム

第1日目 平成23年6月16日(木)

〈第1会場〉

開会の辞 9:25~9:30

会長：飯野 ゆき子

(自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科)

一般演題

第1群 中耳疾患1 9:30~10:20

座長：小林 一女 (昭和大学医学部耳鼻咽喉科)

1 鼓膜換気チューブ抜去困難の1例

○兼井 彩子¹⁾, 小林 一女¹⁾, 洲崎 春海¹⁾, 内藤 陸奥男²⁾

1) 昭和大学医学部耳鼻咽喉科学教室

2) 内藤耳鼻咽喉科クリニック

2 小児, 若年者における鼻すすり型耳管開放症の検討

○池田 怜吉, 小林 俊光

東北大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科

3 当院における小児慢性穿孔性中耳炎の検討

○原 真理子, 松澤 真吾, 長谷川雅世, 児玉 梢, 新鍋 晶浩, 金沢 弘美,
吉田 尚弘, 飯野 ゆき子

自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科

4 小児の鼓膜に穿孔を認めた症例の手術成績

○木下 佳奈¹⁾, 松井 和夫²⁾, 大田 隆之²⁾, 呉 晃一²⁾, 三好 豊²⁾

1) 聖隷浜松病院耳鼻咽喉科

2) 聖隷横浜病院耳鼻咽喉科

5 先天性外耳道閉鎖症の一治験例

○竹内 万彦, 坂井田 寛

三重大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科

第2群 耳感染症1 10:20~11:00

座長: 荒川 浩一 (群馬大学医学部小児科)

6 小児上咽頭分離菌の検討2010年

○香山 智佳子¹⁾, 後藤 友佳子²⁾

1) 香山医院

2) 甲南病院耳鼻咽喉科

7 当院における反復性中耳炎および新規抗菌薬の位置づけ

○丸山 裕美子

黒部市民病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

8 HIV 母子垂直感染の小児における反復性中耳炎の経過について

○留守 卓也¹⁾, 中山 栄一²⁾, 高山 直秀²⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍外科

2) がん・感染症センター都立駒込病院小児科

9 小児反復性中耳炎に対する十全大補湯の効果

○坂井田 麻祐子, 荘司 邦夫

三重耳鼻咽喉科

臨床セミナー I 11:00~12:00

「小児のめまい」

司会: 坂田 英明

(目白大学保健医療学部言語聴覚学科)

演者: 五島 史行 (日野市立病院耳鼻咽喉科)

ランチオンセミナー I 12:00~13:00

「小児急性鼻副鼻腔炎の治療戦略—急性鼻副鼻腔炎診療ガイドライン2010年度版をもとに—」

司会: 山中 昇

(和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科)

演者: 宇野 芳史 (宇野耳鼻咽喉科クリニック)

総会 13:00~13:30

特別講演 I 13:30~14:30

「Pediatric Otolaryngology, past, present, and future」

司会: 市村 恵一 (自治医科大学医学部耳鼻咽喉科)

演者: Robert Ruben (Editor-in-Chief of the International Journal of Pediatric Otorhinolaryngology, Albert Einstein College of Medicine)

シンポジウム I 14:30~16:10

「反復性中耳炎の危険因子とその対応」

司会：小林 俊光

(東北大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科)

—病的胃食道逆流の関与—

○上出 洋介

かみで耳鼻咽喉科クリニック

—授乳児と中耳炎（授乳姿勢を中心として）—

○加藤 俊徳

加藤耳鼻咽喉科医院

—環境因子としての保育園の現状とその対応—

○伊藤 真人

金沢大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

—中耳炎の危険因子としての受動喫煙とその対応—

○井埜 利博

群馬パース大学保健科学部

第3群 中耳疾患2 16:10~17:00

座長：竹内 万彦

(三重大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科)

10 小児滲出性中耳炎における換気チューブ留置後の経過について

○伊藤 由紀子, 服部 玲子

国立病院機構三重中央医療センター耳鼻咽喉科

11 口蓋裂手術時に鼓膜換気チューブ留置術を行った症例の検討

○笹村 佳美¹⁾, 市村 恵²⁾, 石川 浩太郎²⁾, 菊池 恒²⁾

1) 自治医科大学とちぎ子ども医療センター耳鼻咽喉科

2) 自治医科大学医学部耳鼻咽喉科

12 鼓膜穿孔症例の検討

○仲野 敦子¹⁾, 有本 友季子¹⁾, 有本 昇平¹⁾, 船越 うらら²⁾, 工藤 典代³⁾

1) 千葉県こども病院耳鼻咽喉科

2) 千葉大学医学部耳鼻咽喉科

3) 千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科

13 アブミ骨手術を行った小児症例の検討

○松井 和夫^{1,2)}, 大田 隆之¹⁾, 呉 晃一¹⁾, 内藤 聡¹⁾, 木下 佳奈^{1,2)},

三好 豊¹⁾, 久保田 亘³⁾, 林 泰広³⁾

1) 聖隷横浜病院耳鼻咽喉科

2) 聖隷浜松病院耳センター

3) 聖隷浜松病院耳鼻咽喉科

14 小児に対する Baha® (埋め込み型骨導補聴器) の効果と長期経過

○工 穰^{1,2)}, 茂木 英明^{1,2)}, 岩崎 聡²⁾, 宇佐美 真一¹⁾

- 1) 信州大学医学部耳鼻咽喉科
- 2) 信州大学医学部附属病院人工聴覚器学講座

第4群 先天性耳疾患 1 17:00~17:50

座長: 宇佐美 真一 (信州大学医学部耳鼻咽喉科)

15 CDH23遺伝子変異による2家系3例の難聴児の臨床的検討

○増田 佐和子¹⁾, 臼井 智子¹⁾, 竹内 万彦²⁾, 松永 達雄³⁾

- 1) 国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科
- 2) 三重大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科
- 3) 国立病院機構東京医療センター感覚器センター

16 先天性難聴の原因検索と重複例の解析

○安達 のどか¹⁾, 今井 直子¹⁾, 浅沼 聡¹⁾, 小熊 栄二²⁾, 坂田 英明³⁾,
山唄 達也⁴⁾, 加我 君孝⁵⁾

- 1) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
- 2) 埼玉県立小児医療センター放射線科
- 3) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科
- 4) 東京大学医学部耳鼻咽喉科
- 5) 東京医療センター臨床研究(感覚器)センター

17 先天性伝音難聴児10症例の臨床像について

○竹腰 英樹^{1,2)}, 加我 君孝^{1,2)}, 南 修司郎³⁾

- 1) 国際医療福祉大学三田病院耳鼻咽喉科
- 2) 国立病院機構東京医療センター臨床研究センター
- 3) 国立病院機構東京医療センター耳鼻咽喉科

18 難聴, 成長ホルモン分泌不全性低身長症, 性腺機能低下症として治療され, 22歳で CHARGE 症候群と診断した1女性例

○河野 智敬¹⁾, 安達 のどか²⁾, 浅沼 聡²⁾, 坂田 英明³⁾, 望月 弘¹⁾

- 1) 埼玉県立小児医療センター代謝内分泌科
- 2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
- 3) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科

19 テント上脳腫瘍で発症した神経線維腫症2型の2症例

○栗原 淳¹⁾, 浅沼 聡²⁾, 安達 のどか²⁾, 坂田 英明³⁾

- 1) 埼玉県立小児医療センター脳神経外科
- 2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
- 3) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科

第5群 先天性耳疾患2 17:50~18:40

座長：山嵜 達也（東京大学医学部耳鼻咽喉科）

20 蝸牛神経形成不全非典型例の検討

○浅沼 聡¹⁾，今井 直子¹⁾，安達 のどか¹⁾，小熊 栄二²⁾，坂田 英明³⁾

- 1) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
- 2) 埼玉県立小児医療センター放射線科
- 3) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科

21 小児 Auditory Neuropathy 例における Auditory Steady State Response (ASSR) の有用性

○任 智美¹⁾，奥中 美恵子²⁾，北條 和歌³⁾，阪上 雅史¹⁾

- 1) 兵庫医科大学耳鼻咽喉科
- 2) 明和病院耳鼻咽喉科
- 3) 尼崎中央病院耳鼻咽喉科

22 小児の Auditory Neuropathy の臨床像について

○奥中 美恵子¹⁾，任 智美²⁾，北條 和歌³⁾，阪上 雅史²⁾

- 1) 明和病院耳鼻咽喉科
- 2) 兵庫医科大学耳鼻咽喉科
- 3) 尼崎中央病院耳鼻咽喉科

23 前庭水管拡大症児への対応

○島田 亜紀¹⁾，宇高 二良²⁾，長嶋 比奈美²⁾，千田 いづみ¹⁾，島谷 美映²⁾，
藤本 知佐¹⁾，武田 憲昭¹⁾

- 1) 徳島大学医学部耳鼻咽喉科
- 2) 宇高耳鼻咽喉科

24 前庭水管拡大症における気導骨導差と CT 所見の検討

○樋口 仁美，中川 尚志，村上 健
福岡大学医学部耳鼻咽喉科

〈第2会場〉

一般演題

第6群 難聴1 9:30~10:20

座長：泰地 秀信

(国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科)

25 聴覚障害児の発話明瞭度について—感覚器障害戦略研究・症例対照研究における結果から—

○吉野 真代¹⁾, 新谷 朋子^{1,2)}, 川端 文²⁾, 才川 悦子²⁾, 氷見 徹夫²⁾,
北川 可恵³⁾, 笠井 紀夫^{4,5)}, 福島 邦博⁵⁾

- 1) とも耳鼻科クリニック
- 2) 札幌医科大学耳鼻咽喉科
- 3) 北海道子ども総合医療・療育センター耳鼻咽喉科
- 4) 財団法人テクノエイド協会
- 5) 岡山大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科

26 千葉県子ども病院における「感覚器戦略研究—聴覚分野—」言語検査データの検討

○石田 多恵子¹⁾, 猪野 真純¹⁾, 黒谷 まゆみ¹⁾, 仲野 敦子¹⁾, 有本 友季子¹⁾,
工藤 典代²⁾, 笠井 紀夫^{3,4)}, 福島 邦博⁴⁾

- 1) 千葉県子ども病院耳鼻咽喉科
- 2) 千葉県立保健医療大学保健科学部栄養学科
- 3) 財団法人テクノエイド協会
- 4) 岡山大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科

27 内山下小学校難聴学級の50年

○平井 悠, 福島 邦博, 菅谷 明子, 前田 幸英, 西崎 和則
岡山大学大学院医歯薬総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科

28 小児高音急墜型難聴症例22例の検討

○守本 倫子, 本村 朋子, 大原 卓哉, 泰地 秀信
国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科

29 当院の軽度・中等度難聴症例42例の検討

○兼定 啓子, 原 順, 山根 以久子, 久保 千恵子, 伊藤 恵美子
耳鼻咽喉科ののはなクリニック

第7群 言語発達 10:20~11:00

座長：益田 慎 (県立広島病院小児感覚器科)

30 耳鼻咽喉科経由で小児神経科発達外来を受診した、聴力正常な「ことばの遅い子」の傾向

○田中 学¹⁾, 安達 のどか²⁾, 浅沼 聡²⁾, 坂田 英明³⁾

- 1) 埼玉県立小児医療センター神経科
- 2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
- 3) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科

- 31 ことばの遅れを主訴に当科を初診した小児例の検討
○才川 悦子¹⁾, 新谷 朋子^{1,2)}, 川端 文¹⁾, 吉野 真代²⁾, 氷見 徹夫¹⁾
1) 札幌医科大学耳鼻咽喉科
2) とも耳鼻科クリニック
- 32 メンタルリハーサル法で治癒した小児吃音の1例
○都筑 澄夫
目白大学クリニック
- 33 バイリンガル教育が要因と考えられた言語発達遅滞例
○佐藤 公美^{1,2)}, 島田 亜紀¹⁾, 長嶋 比奈美^{1,2)}, 宇高 二良^{1,2)}, 武田 憲昭¹⁾
1) 徳島大学医学部耳鼻咽喉科, 2) 宇高耳鼻咽喉科医院

第8群 頸部1 11:00~11:50

座長: 家根 且有 (近畿大学奈良病院耳鼻咽喉科)

- 34 術前に非反回神経を診断できた小児甲状腺びまん性硬化型乳頭癌例
○成尾 一彦, 清水 直樹, 太田 一郎, 細井 裕司
奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科
- 35 小児耳下腺癌の1例
○長谷川 雅世^{1,2)}, 笹村 佳美²⁾, 市村 恵一²⁾
1) 自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科
2) 自治医科大学医学部耳鼻咽喉科
- 36 頸部浅層に膿瘍をきたした小児自己免疫性好中球減少症の一例
○穉吉 亮平, 深美 悟, 平林 秀樹, 春名 眞一
獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科
- 37 切開排膿術を施行した小児頸部リンパ節膿瘍の7症例
○東 賢二郎, 香取 幸夫
仙台市立病院耳鼻いんこう科
- 38 全摘した下咽頭梨状陥凹瘻18症例の検討
○工藤 毅¹⁾, 飯田 英基¹⁾, 豊田 実²⁾, 二宮 洋³⁾, 安岡 義人⁴⁾
1) 群馬大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
2) 群馬県立がんセンター頭頸科
3) 前橋赤十字病院耳鼻咽喉科
4) 鶴谷病院耳鼻咽喉科

ランチオンセミナーII 12:00~13:00

「小児アトピー性皮膚炎の標準治療の普及を目指して—いくつかの問題点とその解決法—」

司会: 西崎 和則 (岡山大学医学部耳鼻咽喉科)

演者: 江藤 隆史 (東京通信病院皮膚科)

第9群 口腔咽頭1 13:30~14:30

座長：福永 慶隆（日本医科大学小児科）

39 巨大咽頭奇形腫の1例

○金村 信明, 中野 友明, 愛場 庸雅, 古下 尚美, 比良野 彩子, 植村 剛
大阪市立総合医療センター小児耳鼻咽喉科

40 幼児扁桃原発悪性リンパ腫の2例

○宋 碩柱, 兵頭 政光
高知大学医学部耳鼻咽喉科

41 乳児の舌に発生した平滑筋性過誤腫の1例

○籠谷 領二¹⁾, 市川 朝也¹⁾, 安達 のどか²⁾, 坂田 英明³⁾
1) 東京都立小児総合医療センター耳鼻いんこう科
2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
3) 目白大学 保健医療学部言語聴覚学科

42 舌体部舌膿瘍の一例

○久場 潔実, 黒沢 祥浩, 中島 千賀子
上尾中央総合病院小児科

43 当科を受診した歯ブラシによる口腔・咽頭外傷5例の検討

○山本 潤, 黒田 徹
苫小牧市立病院耳鼻咽喉科

44 舌に発症した巣状筋炎の1例

○家根 旦有¹⁾, 高瀬 彩子¹⁾, 榊井 貴史¹⁾, 中井 義紀¹⁾, 樋口 嘉久²⁾,
太田 善夫³⁾, 細井 裕司⁴⁾
1) 近畿大学医学部奈良病院耳鼻咽喉科
2) 近畿大学医学部奈良病院小児科
3) 近畿大学医学部奈良病院病理部
4) 奈良県立医科大学耳鼻咽喉科

第10群 喉頭1 14:30~15:20

座長：安岡 義人（鶴谷病院耳鼻咽喉科）

45 フライドチキンによる気道異物の1症例

○日高 浩史¹⁾, 鈴木 貴博¹⁾, 清川 裕道¹⁾, 原 陽介¹⁾, 小林 俊光¹⁾, 香取 幸夫²⁾
1) 東北大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科
2) 仙台市立病院耳鼻いんこう科

46 径20mmのコイン型リチウム電池誤飲による両側声帯麻痺で気管切開となった乳児症例

○廣瀬 正幸, 津田 武, 佐野 光仁
大阪府立母子保健総合医療センター耳鼻咽喉科

47 当科における喉頭軟弱症の現況

○阪本 浩一, 大津 雅秀
兵庫県立こども病院耳鼻咽喉科

48 当科における披裂部粘膜手術の検討

○田辺 輝彦¹, 小河原 昇¹, 井上 真規¹, 佃 守²

- 1) 神奈川県立こども医療センター耳鼻咽喉科
- 2) 横浜市立大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

49 喉頭軟弱症を伴った喉頭裂の1例

○福田 一代¹, 大木 康史¹, 荒川 浩一¹, 川田 倫之², 安岡 義人³

- 1) 群馬大学医学部附属病院周産母子センター
- 2) 群馬大学大学院耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
- 3) 鶴谷病院耳鼻咽喉科

第11群 喉頭2 15:20~16:10

座長：阪本 浩一（兵庫県立こども病院耳鼻咽喉科）

50 乳児喉頭血管腫に対して β 遮断薬が有効であった2症例

○今井 直子¹, 安達 のどか¹, 浅沼 聡¹, 鍵本 聖一², 二藤 隆春³,
坂田 英明⁴, 山嵜 達也³

- 1) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
- 2) 埼玉県立小児医療センター総合診療科
- 3) 東京大学医学部耳鼻咽喉科
- 4) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科

51 KTPレーザー焼灼により治療した先天性声門下血管腫症例

○石野 岳志, 大久保 剛, 井門 謙太郎, 竹野 幸夫, 平川 勝洋
広島大学大学院医学部病態制御医科学講座耳鼻咽喉科学

52 手術治療を要した乳児の喉頭蓋嚢腫の3症例

○香取 幸夫¹, 小倉 正樹¹, 堀 容子², 角田 梨沙子¹, 東 賢二郎¹

- 1) 仙台市立病院耳鼻いんこう科
- 2) 一番町堀耳鼻咽喉科（仙台市）

53 新生児上気道閉塞性疾患の2症例

○善浪 弘善, 高橋 壽彦, 仲田 拓人, 和田 伊佐雄, 柴崎 修, 中嶋 正人,
加瀬 康弘
埼玉医科大学耳鼻咽喉科

54 緊急気管切開を必要とした小児声門下腫瘍の一例

○前川 昌平¹, 米倉 竹夫¹, 小角 卓也¹, 澤井 利夫¹, 野瀬 恵介¹, 木村 拓也¹,
家根 且有², 中井 義紀², 榊井 貴史², 高瀬 彩子², 太田 善夫³

- 1) 近畿大学医学部奈良病院小児外科
- 2) 近畿大学医学部奈良病院耳鼻咽喉科
- 3) 近畿大学医学部奈良病院臨床検査部

第12群 喉頭3 16:10~17:00

座長：内藤 健晴

(藤田保健衛生大学医学部耳鼻咽喉科)

- 55 重症気管・気管支軟化症に対し気管外ステント術を施行し退院した Camptomelic dysplasia の2歳女児例
○福田 聡子¹⁾, 菅野 啓一¹⁾, 清水 正樹¹⁾, 今井 直子²⁾, 安達 のどか²⁾, 浅沼 聡²⁾, 坂田 英明³⁾
1) 埼玉県立小児医療センター未熟児新生児科
2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
3) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科
- 56 Type 3 の喉頭気管食道裂に対し披裂軟骨形成を追加した transtracheal repair の2例
○米倉 竹夫, 小角 卓也, 山内 勝治, 黒田 征加, 神山 雅史, 井原 欣幸
近畿大学医学部奈良病院小児外科
- 57 長期経過にて気管切開から離脱できた両側喉頭麻痺の1例
○田中 妙子
福井県済生会病院耳鼻咽喉科・頸部外科
- 58 乳児期に気管切開術を施行した患児・家族の, 生活変化に伴う支援に関する一考察
○平野 朋美¹⁾, 浅沼 聡²⁾, 安達 のどか²⁾, 今井 直子²⁾, 坂田 英明³⁾
1) 埼玉県立小児医療センター地域医療連携室
2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
3) 目白大学保健医療学部聴覚学科
- 59 小児の気管切開をとりまく現況について—全国アンケート調査から—
○坂田 英明¹⁾, 浅沼 聡²⁾, 安達 のどか²⁾
1) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科
2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科

第13群 嚥下 17:00~17:40

座長：佐野 光仁

(大阪府立母子保健総合医療センター耳鼻咽喉科)

- 60 耳鼻咽喉科診療所における摂食・嚥下障害児への取り組み —VF検査の現状—
○森 正博
森耳鼻咽喉科
- 61 喉頭気管分離術(気管弁法)の術式とその利点
○安岡 義人¹⁾, 二宮 洋²⁾, 紫野 正人³⁾, 村田 考啓³⁾, 飯田 英基³⁾, 長井 今日子³⁾, 渡辺 美緒⁴⁾, 荒川 浩一⁵⁾
1 鶴谷病院耳鼻咽喉科
2 前橋赤十字病院耳鼻咽喉科
3 群馬大学医学部耳鼻咽喉科
4 群馬県立小児医療センター小児科
5 群馬大学医学部小児科

62 喉頭気管分離術を施行したムコ多糖症の2例

○有本 昇平¹⁾, 有本 友季子¹⁾, 仲野 敦子¹⁾, 大熊 雄介²⁾, 工藤 典代³⁾

1) 千葉県こども病院耳鼻咽喉科

2) 松戸市立病院耳鼻咽喉科

3) 千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科

63 鎮静・鎮痛下に声門閉鎖術を施行した重度心身障害児の一例

○二藤 隆春, 斉藤 真紀, 上羽 瑠美, 山唄 達也

東京大学医学部耳鼻咽喉科

第14群 鼻副鼻腔1 17:40~18:20

座長: 春名 眞一

(獨協医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

64 上顎に発生した juvenile trabecular ossifying fibroma の1症例

○早水 佳子, 大堀 純一郎, 黒野 祐一

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科

65 出血性鼻咽腔腫瘍に対する内視鏡下硬化療法

○長井 今日子¹⁾, 安岡 義人^{1,2)}, 紫野 正人¹⁾, 川田 倫之^{1,3)}, 中島 恭子¹⁾,

松山 敏行¹⁾

1) 群馬大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2) 鶴谷病院耳鼻咽喉科

3) 前橋赤十字病院耳鼻咽喉科

66 二次性変化をきたした片側性後鼻孔閉鎖症例

○柴田 敏章

明石市立市民病院耳鼻咽喉科

67 アトピー素因を持つ小児における気道アレルギー疾患の発症についての検討

○米倉 修二, 岡本 美孝

千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

第2日目 平成23年6月17日(金)

〈第1会場〉

モーニングセミナー 7:30~8:20

「小児急性中耳炎の治療 —使用抗菌薬を考える—」

司会：鈴木 有子

(金沢医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

演者：鈴木 賢二

(藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院耳鼻咽喉科)

一般演題

第15群 頸部2 8:30~9:20

座長：岡本 美孝 (千葉大学医学部耳鼻咽喉科)

68 右第4 鰓裂由来の側頸嚢胞の一例

○三澤 清¹⁾, 峯田 周幸¹⁾, 細川 久美子¹⁾, 荒井 真木²⁾, 三澤 由幾²⁾

1) 浜松医科大学耳鼻咽喉科

2) 県西部浜松医療センター耳鼻咽喉科

69 哺乳不良, 喘鳴を呈した inflammatory myofibroblastic tumor の乳児例

○有本 友季子¹⁾, 仲野 敦子¹⁾, 有本 昇平¹⁾, 工藤 典代²⁾

1) 千葉県こども病院耳鼻咽喉科

2) 千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科

70 前頸部腫脹を主訴に当科を受診した進行性骨化性線維異形成症

○笠井 美里, 岡田 弘子, 飯塚 崇, 楠 威志, 池田 勝久

順天堂医院耳鼻咽喉・頭頸科

71 小児完全側頸瘻の1症例

○中島 恭子¹⁾, 工藤 毅¹⁾, 長井 今日子¹⁾, 安岡 義人²⁾

1) 群馬大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2) 鶴谷病院耳鼻咽喉科

72 小児頸部に刺入した木片異物の一例

○森島 亮¹⁾, 金澤 丈治¹⁾, 川田 和己¹⁾, 菊池 恒¹⁾, 笹村 佳美²⁾, 市村 恵一¹⁾

1) 自治医科大学医学部耳鼻咽喉科

2) 自治医科大学とちぎ子ども医療センター耳鼻咽喉科

第16群 口腔咽頭2 9:20~10:10

座長：鈴木 雅明 (帝京大学医学部耳鼻咽喉科)

73 空気力学的鼻咽腔閉鎖機能検査と聴覚判定に関する検討

○長島 圭士郎, 内藤 健晴, 堀部 晴司, 堀部 智子, 清水 雅子, 犬塚 恵美子

藤田保健衛生大学医学部耳鼻咽喉科

- 74 睡眠ポリグラフ (PSG) にて中枢性無呼吸と判明した女児 2 症例—PSG を行うべき症例とは—

○加藤 久美

太田総合病院記念研究所附属診療所太田睡眠科学センター

- 75 頭蓋顔面奇形を有する乳児睡眠時無呼吸に対しての呼吸管理の検討

○酒井 あや¹⁾, 佐藤 仁志²⁾, 鈴鹿 有子¹⁾, 三輪 高喜¹⁾

1) 金沢医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

2) 金沢医科大学小児科学

- 76 保存的治療により改善した小児 OSAS 症例の検討

○相澤 直孝, 佐藤 邦広, 土屋 昭夫, 高橋 姿

新潟大学医学部耳鼻咽喉科

- 77 小児 OSAS 症例の睡眠構築と臨床症状の変化

○西村 洋一, 中田 誠一, 小島 卓朗, 藤澤 利行, 鈴木 賢二

藤田保健衛生大学第二教育病院耳鼻咽喉科

第17群 口腔咽頭3 10:10~11:00

座長: 原淵 保明

(旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

- 78 扁桃摘出が有効であった PFAPA 症候群の 1 例

○吉田 沙絵子, 長門 利純, 高原 幹, 林 達哉, 原淵 保明

旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

- 79 IgA 腎症に対するステロイドパルス+扁桃摘出術の有効性について

○渡邊 常樹¹⁾, 井上 由香¹⁾, 遠藤 周¹⁾, 伊藤 亮¹⁾, 平野 大志¹⁾, 岸本 宏志⁴⁾,
今井 直子²⁾, 安達 のどか²⁾, 浅沼 聡²⁾, 坂田 英明³⁾, 藤永 周一郎¹⁾

1) 埼玉県立小児医療センター腎臓科

2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科

3) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科

4) 埼玉県立小児医療センター病理診断科

- 80 PFAPA 症候群の 1 例

○野垣 岳稔, 小林 一女, 洲崎 春海

昭和大学医学部耳鼻咽喉科学教室

- 81 紫斑病性腎炎に対する口蓋扁桃摘出術

○松谷 幸子

仙台赤十字病院耳鼻咽喉科

- 82 内視鏡下にマイクロデブリッターを用いたアデノイド切除術

○堀川 利之, 清水 良憲, 田中 妙子, 津田 豪太

福井県済生会病院耳鼻咽喉科

臨床セミナーⅡ 11:00~12:00

「発達障害の理解と援助」

司会：加我 君孝（国立病院機構東京医療センター）
演者：渡部 京太
（国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科）

ランチョンセミナーⅢ 12:00~13:00

「小児の長引く咳」

司会：望月 博之（東海大学医学部小児科）
演者：川崎 一輝
（国立成育医療研究センター呼吸器科）

特別講演Ⅱ 13:10~14:10

「Professionalism and Leadership」

司会：川城 信子
（元国立成育医療センター耳鼻咽喉科）
演者：平敷 淳子
（埼玉医科大学名誉教授 国際女医会前会長）

シンポジウムⅡ 14:10~15:50

「小児耳鼻咽喉科疾患に対する手術療法の選択」

司会：阪上 雅史（兵庫医科大学耳鼻咽喉科）

— 耳疾患 —

三代 康雄
兵庫医科大学耳鼻咽喉科

— 鼻副鼻腔疾患 —

月舘 利治
獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科

— アデノイド・扁桃 —

新谷 朋子
札幌医科大学耳鼻咽喉科，とも耳鼻科クリニック

— 小児プライマリ・ケアの視点から 滲出性中耳炎と閉塞性無呼吸 —

黒木 春郎
外房こどもクリニック

第18群 人工内耳 16:00~17:00

座長:長井 今日子(群馬大学医学部耳鼻咽喉科)

83 術後5年以上経過して就学している小児人工内耳症例の経過について

○川端 文¹⁾, 新谷 朋子^{1,2)}, 才川 悦子¹⁾, 吉野 真代²⁾, 北川 可恵³⁾, 氷見 徹夫¹⁾

- 1) 札幌医科大学附属病院耳鼻咽喉科
- 2) とも耳鼻科クリニック
- 3) 北海道立子ども総合医療・療育センター耳鼻咽喉科

84 当院における再手術・追加手術を要した小児の人工内耳症例

○菅谷 明子¹⁾, 福島 邦博¹⁾, 片岡 祐子¹⁾, 前田 幸英¹⁾, 笠井 紀夫^{1,2)},
平井 美紗都^{1,3)}, 西崎 和則¹⁾

- 1) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学
- 2) 財団法人テクノエイド協会
- 3) 岡山済生会総合病院耳鼻咽喉科

85 幼児の両側人工内耳埋め込み術の1症例

○北條 和歌¹⁾, 奥中 美恵子²⁾, 任 智美³⁾, 西口 道子³⁾, 阪上 雅史³⁾

- 1) 尼崎中央病院耳鼻咽喉科
- 2) 明和病院耳鼻咽喉科
- 3) 兵庫医科大学耳鼻咽喉科

86 再手術を要した小児人工内耳症例の検討

○斉藤 真紀¹⁾, 樫尾 明憲¹⁾, 狩野 章太郎¹⁾, 尾形 エリカ¹⁾, 赤松 裕介¹⁾,
安達 のどか²⁾, 浅沼 聡²⁾, 坂本 幸士¹⁾, 柿木 章伸¹⁾, 山嵜 達也¹⁾

- 1) 東京大学医学部耳鼻咽喉科
- 2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科

87 小児人工内耳の再手術例

○竹村 景史¹⁾, 渡辺 暢浩²⁾, 高橋 真理子¹⁾, 村上 信五¹⁾

- 1) 名古屋市立大学大学院耳鼻咽喉科
- 2) わたなべ耳鼻咽喉科

88 当科における重複障害児に対する人工内耳成績

○赤松 裕介¹⁾, 尾形 エリカ¹⁾, 樫尾 明憲¹⁾, 安井 拓也¹⁾, 安達 のどか²⁾,
浅沼 聡²⁾, 山嵜 達也¹⁾

- 1) 東京大学医学部耳鼻咽喉科
- 2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科

閉会の辞 17:00~

〈第2会場〉

一般演題

第19群 難聴2 8:30~9:20

座長：細井 裕司（奈良県立医科大学耳鼻咽喉科）

89 先天性高度難聴児に対する療育の評価について～難聴ベビールームのアンケート結果を中心に～

○佐久間 嘉子¹⁾，坂田 英明²⁾，富澤 晃文²⁾

1) 目白大学クリニック耳鼻咽喉科

2) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科

90 聞こえの問診項目を加えた広島市の1歳6か月児健康診査の現況

○井口 郁雄¹⁾，江草 憲太郎¹⁾，花川 浩之¹⁾，林谷 道子²⁾，佐藤 朋子³⁾，
古川 智恵⁴⁾，石井 のり子⁴⁾

1) 広島市立広島市民病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2) 広島市立広島市民病院新生児科

3) 難聴幼児通園児施設山彦園

4) 広島市こども未来局こども・家庭支援課

91 軽度・中等度難聴児に対する「岡山県難聴児補聴器交付事業」導入1年間の実施状況

○片岡 祐子，菅谷 明子，福島 邦博，前田 幸英，西崎 和則

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科

92 聴覚障害児における語音明瞭度の検討

○高橋 真理子¹⁾，竹村 景史¹⁾，村上 信五¹⁾，笠井 紀夫²⁾，福島 邦博²⁾

1) 名古屋市立大学耳鼻咽喉・頭頸部外科

2) 岡山大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科

93 低音障害型の難聴乳児2例への補聴 —ABR とインサートイヤホンを使用したVRAを指標として—

○富澤 晃文^{1,2)}，佐久間 嘉子²⁾，遠藤 まゆみ²⁾，坂田 英明^{1,2)}

1) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科

2) 目白大学クリニック

第20群 難聴3 9:20~10:10

座長：小川 郁（慶応義塾大学医学部耳鼻咽喉科）

- 94 聴覚障害児・者の言語性知能—動作性知能が正常範囲例について—
○橋本 かほる¹⁾，能登谷 晶子^{1,2)}，原田 浩美³⁾，伊藤 真人^{1,2)}
1) 金沢大学医学部耳鼻咽喉科
2) 金沢大学医薬保健研究域
3) 聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部
- 95 集団生活の環境下で育つ幼児の言語発達の評価について—言語聴覚士の早期介入—
○雨森 純子^{1,2)}，坂田 英明^{1,2)}，佐久間 嘉子²⁾，内山 千鶴子¹⁾
1) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科
2) 目白大学クリニック
- 96 難聴児及び人工内耳装用児にみるエコラリー型言語発達遅滞について
○田中 美郷^{1,2)}，針谷 しげ子¹⁾，松本 恭子¹⁾
1) 神尾記念病院
2) 田中美郷教育研究所
- 97 聴児および聴覚障害児における構文発達の検討
○藤吉 昭江¹⁾，田口 智子¹⁾，笠井 紀夫^{2,3)}，長安 吏江²⁾，菅谷 明子²⁾，
福島 邦博²⁾，西崎 和則²⁾
1) 岡山大学病院耳鼻咽喉科
2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科
3) 財団法人テクノエイド協会
- 98 聴力検査上難聴ではないが言語発達の状態から難聴を疑った小児例
○益田 慎¹⁾，福島 典之²⁾
1) 県立広島病院小児感覚器科
2) 県立広島病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

第21群 真珠腫 10:10~11:00

座長：高橋 姿（新潟大学医学部耳鼻咽喉科）

- 99 外耳道前壁に出現した先天性中耳真珠腫の1例
○小河原 昇，井上 真規，田辺 輝彦
神奈川県立こども医療センター 耳鼻咽喉科
- 100 小児後天性真珠腫の検討
○森田 由香，山本 裕，高橋 邦行，高橋 姿
新潟大学医学部耳鼻咽喉科
- 101 2歳以下で発見，加療を行なった先天性中耳真珠腫の検討
○呉 晃一¹⁾，松井 和夫¹⁾，大田 隆之¹⁾，三好 豊¹⁾，木下 佳奈²⁾
1) 聖隷横浜病院耳鼻咽喉科
2) 聖隷浜松病院耳鼻咽喉科

102 当科における小児後天性真珠腫症例の検討

○遠藤 周一郎¹⁾, 水越 昭仁¹⁾, 今村 俊一²⁾, 増山 敬祐¹⁾

1) 山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2) 今村耳鼻咽喉科めまい難聴クリニック

103 急性乳様突起炎を契機に発見された真珠腫性中耳炎の1例

○松本 淳也¹⁾, 菅谷 明子²⁾, 片岡 祐子²⁾, 福島 邦博²⁾, 西崎 和則²⁾

1) 国立病院機構岩国医療センター耳鼻咽喉科

2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科

第22群 鼻副鼻腔2 11:00~11:50

座長: 黒野 祐一 (鹿児島大学医学部耳鼻咽喉科)

104 小児のアレルギー性鼻炎に対するKTPレーザー治療の有用性の検討

○菊池 恒¹⁾, 今吉 正一郎¹⁾, 川田 和己¹⁾, 笹村 佳美²⁾, 市村 恵一¹⁾

1) 自治医科大学医学部耳鼻咽喉科

2) 自治医科大学とちぎこども医療センター

105 小児眼窩吹き抜け骨折の検討

○本田 耕平, 山崎 一春, 佐藤 輝幸, 石川 和夫

秋田大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

106 小児鼻副鼻腔炎診断における超音波検査の有用性

○深見 雅也

深見耳鼻咽喉科

107 急性副鼻腔炎重症合併症の2例

○佐々木 裕之¹⁾, 星野 直¹⁾, 仲野 敦子²⁾, 有本 友季子²⁾,

大熊 雄介²⁾

1) 千葉県こども病院感染症科

2) 千葉県こども病院耳鼻咽喉科

108 副鼻腔炎合併症に対し内視鏡下副鼻腔手術を施行した小児の2症例

○塩野 理, 石戸谷 淳一

横浜市立大学市民総合医療センター耳鼻咽喉科

ランチオンセミナーⅣ 12:00~13:00

「肺炎球菌予防戦略の展開~結合型ワクチンの中耳炎予防効果は?」

司会: 工藤 典代

(千葉県立保健医療大学健康科学部)

演者: 中野 貴司 (川崎医科大学小児科)

第23群 口腔咽頭4 13:10~14:10

座長: 峯田 周幸 (浜松医科大学耳鼻咽喉科)

109 小児扁桃周囲膿瘍の2症例

○須藤 敏, 崎浜 教之

沖縄県立中部病院耳鼻咽喉・頭頸部外科

110 バセドウ病治療中に扁桃炎で始まったEBウイルス関連血球貪食症候群の1例

○原 稔¹⁾, 平山 彩^{1,2)}, 隈上 秀高¹⁾, 高橋 晴雄¹⁾

- 1) 長崎大学医学部耳鼻咽喉科
- 2) 佐世保市立総合病院耳鼻咽喉科

111 生後1ヶ月児に発生した咽後膿瘍の1例

○上村 明寛¹⁾, 森合 重誉²⁾, 和田 哲治²⁾, 金井 直樹²⁾, 林 達哉¹⁾, 原渕 保明¹⁾

- 1) 旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 2) 北見赤十字病院頭頸部・耳鼻咽喉科

112 外耳道に穿破した咽後膿瘍の一例

○三澤 由幾¹⁾, 荒井 真木¹⁾, 細川 久美子²⁾, 三澤 清²⁾, 峯田 周幸²⁾

- 1) 県西部浜松医療センター耳鼻咽喉科
- 2) 浜松医科大学耳鼻咽喉科

113 咽後膿瘍との鑑別を要した川崎病の2例

○入川 直矢, 小河 孝夫, 戸嶋 一郎, 大道 千奈津, 清水 猛史
滋賀医科大学耳鼻咽喉科

114 咽後膿瘍様所見を呈した年長児川崎病の1例

○山本 光, 濱田 昌史, 金田 将治, 飯田 政弘
東海大学医学部耳鼻咽喉科

第24群 聴覚・平衡機能検査 14:10~15:00

座長: 中川 尚志 (福岡大学医学部耳鼻咽喉科)

115 ABR-V波のLatency-Intensity curveの放物線近似による潜時計測値の妥当性評価

○横田 進¹⁾, 榎本 英雄¹⁾, 今井 直子²⁾, 安達 のどか²⁾, 浅沼 聡²⁾, 坂田 英明³⁾

- 1) 埼玉県立小児医療センター検査技術部
- 2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
- 3) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科

116 聴性定常反応検査(ASSR)の幼児聴力検査との比較とその有用性の検討

○西村 洋¹⁾, 前山 啓充¹⁾, 森 靖子¹⁾, 猪原 秀典²⁾

- 1) 大手前病院耳鼻咽喉科
- 2) 大阪大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

117 乳幼児の聴覚検査—ABRとCORの検討—

○増村 千佐子^{1,2)}, 川島 貴之¹⁾, 木澤 薫¹⁾, 中川 あや^{1,3)}, 大崎 康宏⁴⁾,
猪原 秀典¹⁾

- 1) 大阪大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
- 2) 近畿中央病院耳鼻咽喉科
- 3) 市立吹田市民病院耳鼻咽喉科
- 4) 香川大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

- 118 ASSR 閾値による聴力型別から得た ABR の所見 —低音域を含めた ABR 閾値—
 ○榎本 英雄¹⁾, 横田 進¹⁾, 今井 直子²⁾, 安達 のどか²⁾, 浅沼 聡²⁾, 坂田 英明³⁾
 1) 埼玉県立小児医療センター検査技術部
 2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
 3) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科
- 119 めまい, 平衡障害における ENG 記録の診断的価値
 ○遠藤 まゆみ, 坂田 英明, 佐久間 嘉子
 目白大学クリニック耳鼻咽喉科

第25群 耳感染症 2 15:00~16:00

座長: 井口 郁雄 (広島市民病院耳鼻咽喉科)

- 120 不全型川崎病に合併した急性感音性難聴の1例
 ○市川 朝也¹⁾, 籠谷 領二¹⁾, 松中 絵美²⁾, 安達 のどか³⁾, 坂田 英明⁴⁾
 1) 東京都立小児総合医療センター耳鼻いんこう科
 2) 東京都立小児総合医療センターリハビリテーション科
 3) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
 4) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科
- 121 川崎病の難聴合併症例
 ○四宮 瞳¹⁾, 安井 理絵¹⁾, 阪本 浩一²⁾, 大津 雅秀²⁾
 1) 加古川市民病院耳鼻咽喉科
 2) 兵庫県立こども病院耳鼻咽喉科
- 122 小児急性中耳炎に対する Feuerstein Split Tube の使用経験
 ○藤澤 嘉郎¹⁾, 笹村 佳美²⁾, 市村 恵一³⁾
 1) 芳賀赤十字病院耳鼻咽喉科
 2) 自治医科大学とちぎ子ども医療センター耳鼻咽喉科
 3) 自治医科大学耳鼻咽喉科
- 123 緊急乳突洞削開術を施行した小児急性乳様突起炎の2症例
 ○高橋 昌兵¹⁾, 佐藤 哲也²⁾, 守田 雅弘²⁾, 甲能 直幸²⁾
 1) 杏林大学医学部附属病院
 2) 杏林大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸科
- 124 小児細菌性髄膜炎における中耳炎および内耳奇形合併例の検討
 ○萩原 真一郎¹⁾, 鍵本 聖一¹⁾, 浅沼 聡²⁾, 安達 のどか²⁾, 坂田 英明³⁾
 1) 埼玉県立小児医療センター総合診療科
 2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
 3) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科
- 125 RS ウイルス感染に伴う小児急性中耳炎の臨床像
 ○臼井 智子, 増田 佐和子
 国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科

第26群 耳ウイルス感染症 16:00~17:00

座長：氷見 徹夫（札幌医科大学耳鼻咽喉科）

- 126 当科における先天性サイトメガロウイルス感染症児に対する人工内耳の成績
○樫尾 明憲¹⁾, 安達 のどか²⁾, 安井 拓也¹⁾, 尾形 エリカ¹⁾, 赤松 裕介¹⁾,
坂田 英明³⁾
1) 東京大学医学部耳鼻咽喉科
2) 埼玉小児医療センター耳鼻咽喉科
3) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科
- 127 聴覚異常で発症した先天性 CMV 感染症の頭部 MR 所見
○小熊 栄二¹⁾, 浅沼 聡²⁾, 安達 のどか²⁾, 坂田 英明³⁾, 大石 勉⁴⁾
1) 埼玉県立小児医療センター放射線科
2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
3) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科
4) 埼玉県立小児医療センター感染免疫科
- 128 先天性サイトメガロウイルス感染による難聴の早期発見と治療
○泰地 秀信, 守本 倫子, 本村 朋子, 大原 卓哉
国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科
- 129 両側急性重度難聴を生じたムンプス感染の1症例
○松山 敏之¹⁾, 長井 今日子¹⁾, 高安 幸弘¹⁾, 中島 恭子¹⁾, 村田 考啓¹⁾,
荒川 浩一²⁾, 安岡 義人¹⁾
1) 群馬大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科
2) 群馬大学医学部小児科
- 130 最近経験したムンプス難聴例の実態とそのフォローについて
○針谷 しげ子, 田中 美郷, 松本 恭子
神尾記念病院
- 131 過去29年間に当科で経験した小児のムンプス難聴
○水川 知子¹⁾, 松岡 るみ子¹⁾, 水川 敦裕¹⁾, 佐藤 宏昭¹⁾, 村井 盛子²⁾,
小林 有美子²⁾, 宍戸 潔³⁾, 草野 英昭⁴⁾
1) 岩手医科大学医学部耳鼻咽喉科
2) 盛岡市立病院耳鼻咽喉科
3) ししど耳鼻咽喉科医院（一関市）
4) くさの耳鼻咽喉科クリニック（福島市）